

ボランティアスキルアップ講座

開催しました!

『ココロもカラダもリラックス』

～実践/ハンドマッサージ～

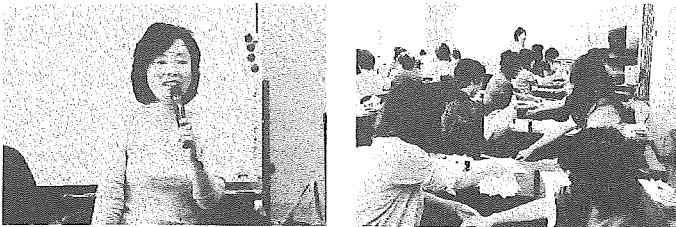
震災から2週間という事で自肅も検討したのですが、こんな時期だからこそ皆さんに元気になってもらいたい、覚えたハンドマッサージで周りの方も元気にして欲しいとの思いから、講師の大場直緒先生(NPO日本アロマテラピー活動サポートセンター・英国IFA認定アロマセラピスト)にご相談の結果、アロマテラピー半日体験講座を3月26日(土)10時～12時に開催しました。70名以上のご応募を頂いた中から厳正なる抽選の結果30名が当選し、当日25名の皆さんと、アロマテラピーとは? 暮らしの中の活用法などをお聞きし、実際にアロマクラフトのブレンドやアロマハンドマッサージの体験しました。会場はアロマの香りに包まれ、リラックスした癒しの時間を過ごすことが出来ました。参加された皆さんも、

・「初めての体験でしたが、とてもわかりやすい説明で、良い時間を持たせて頂きありがとうございました。癒しを体験することが出来ました。」

・「誰かにするだけでなく、自分にとっても効果を感じた。」

・「とても、とても為になりました。まずは家族にやってみたいと思います。」

など沢山の感想を書いて頂きました。



先生がお話の中で「触れることは元気になること」とおっしゃっていました。ハンドマッサージはされるのはもちろんですが、マッサージする方も心豊かで穏やかな気持ちになれば、まさにその言葉を皆が体感できた時間でした。

今回は一回限りの体験でしたが、来年度は連続の「アロマハンドマッサージボランティアの養成講座」を企画中です。どうぞお楽しみに!

「RABBIT」入手可能場所('11年4月現在)

* 枠で囲んである場所では、掲示板などにボランティア募集情報を掲示しています

(北地区) **北市民プラザ**・国立北郵便局・北福祉館。

(東地区) 国立旭通り郵便局・国立床屋・東福祉館
松浦歯科医院・ギャラリーレストラン北川・石川クリニック
大和証券国立支店。

(中地区) 多摩信用金庫国立支店・**国立市公民館**
喫茶わいがや。

(西地区) 国立西郵便局・つぶらや・西福祉館。

(富士見台地区) **くにたち中央図書館**・**国立郵便局**

YMCA国際医療福祉専門学校・**くにたち福祉会館**

国立市役所・富士見台調剤薬局・ピエトロバルコナー。

(谷保地区) 高柳商店・東京みどり農業協同組合国立支店・肉の万世矢川駅前店・ジョナサン矢川駅前店・タイヤ館国立・国立谷保郵便局・くにたち郷土文化館・理容室エンゼル。

(泉地区) **南市民プラザ**

計 32ヶ所

「RABBIT」を置かせて頂ける場所を募集しています。

編集・発行

(社福)国立市社会福祉協議会

国立市ボランティアセンター

〒186-8555 国立市富士見台2-38-5

くにたち福祉会館1階

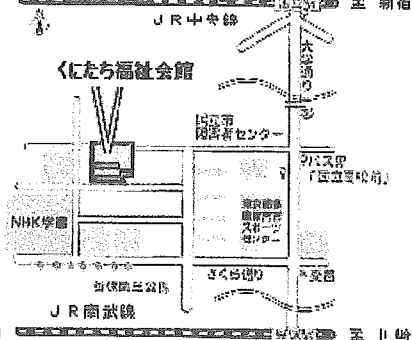
tel. 042-575-3223

fax. 042-580-7112

E-mail. KFH01416@nifty.ne.jp

至 立川

至 新宿



ボランティア
センター通信

～らびっと～

RABBIT



Yoko.M

VOL.72 '11年4月 & 5月号

(偶数月発行)

- ・東北地方太平洋沖地震について
- ・ボランティア入門講座の案内
- ・ボランティア保険のお知らせ
- ・スキルアップ講座報告

☆ ホームページもご覧ください!

国立市ボランティアセンター

検索

東北地方太平洋沖地震について

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震及びそれに伴う津波によって東日本の多くの地域で被害にあわれた皆さまやご関係者さまに心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

国立市ボランティアセンターでも被災者の方や被災地域の支援・協力を全力で取り組んでいきたいと思っています。

今回の地震では、大きな被害はなかったものの国立でも今までにない揺れを体験し、被災地の方からすれば比喩にならないとは思いますが、地震の怖さを体感した方が多かったと思います。

ボランティアセンターホームページのボラセン日記を読んで下さっている方は、すでにご存じのことと思いますが、先日3月26日～30日までセンターの職員が福島県相馬市の災害ボランティアセンターの支援に行ってきました。

実際に現場に関わった生のレポートを読んでいただき、実際の現場の望む事やこれからの支援・協力を一緒に考えて行きましょう。

ボラセン日記～らびっとバージョン～

被災地へ行って思う事… by 健太郎

東京都社会福祉協議会の依頼により、相馬市災害ボランティアセンターの運営支援に行ってきました。災害ボランティアセンターの運営も社会福祉協議会の職員と地域の方々で行われていました。

私が派遣されていた期間（3月26日～30日）については、幸いにも津波の被害を受けていない地域の方々、高校生や婦人会の皆さんなど中心に、日に100人を超える方々が駆け付けてくださいました。ただ、地元の方は辛抱強く、なかなかニーズが出てきません。地域のボランティアの皆さんが「どうだった?」「困ったことはない?」と聞くと「実は……」とニーズが出てきます。地域の方が地域の方の話の聞き、外から来たボランティアに繋ぐということがとても重要だと思いました。

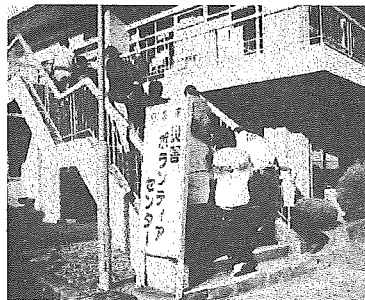
ボランティアの活動としては、避難所の炊き出しのお手伝い、道路が復旧して一気に押し寄せる救援物資の仕分け

や整理、道路の泥かき、避難所の子どもの遊び相手、地元の方による、お一人暮らしの方の訪問活動、段々と活動の幅が広がっていきます。

ボランティアの高校生が活動を終え、センターに帰ってきた際に「おつかれさま」と声をかけると「自分たちの町だから、かんばります」とさり気なくこたえてくれました。

海岸部で津波の被災を受けた方の避難所にもなっていた相馬市総合福祉センターで、450人くらいの避難者の方が生活をされていました。集落ごとに部屋が使われており、コミュニティが保たれていました。避難されている方たちも積極的に炊き出しや館内の清掃作業も担っていました。もっと生活のリズムを付けたいとのことで避難されていらっしゃる方から、ラジオ体操をしたいとのリクエストもあり、朝にラジオ体操のテープが流れるようになり、段々と復興に向けての準備も進んでいるように感じました。

復興にはかなり時間がかかると思います。長く関心を持って、被災されている地域の皆さんの日常生活を取り戻せるよう、その時に必要とされるボランティア活動にご協力を頂ければ幸いです。



～災害ボランティアセンターと社会福祉協議会～

阪神淡路大震災以降、全国にある社会福祉協議会のネットワークを生かした取り組みとして、災害時には職員等の相互派遣協定により派遣を行うことになっています。社会福祉協議会は、地域の皆さんとの関係が深いこと、それぞれの地域に設置されているため長期的な支援が可能などの理由から災害時のボランティアセンター設置の核になることが多いのです。

ボランティア入門講座

どなたでも気軽に参加していただける講座です。

日時: 4月19日(火) 14:00～16:00

5月25日(水) 14:00～16:00

6月24日(金) 14:00～16:00

場所: くにたち福祉会館(富士見台2-38-5)

内容: 「ボランティアって何?」/講義

「車椅子介助体験をしてみよう」/実技

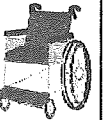
「手話ってどんなもの?」/実技

「ボランティアセンターから」/活動紹介など

申込み: 国立市ボランティアセンターへ

TEL 042-575-3223

* 受講費無料。内容は毎回同じですので、ご都合の良い日どうぞ。(毎月1回開催)
前日17時までに電話でお申し込み下さい。



ボランティア保険の更新はお済ですか?

ボランティア保険とは?

ボランティア・市民活動中のケガに対応し、安心して活動できる事を目的とした保険です。ボランティア活動中および活動場所への往復途上のボランティア自身の事故・ケガに対応する傷害保険と、第三者の身体や財物、または名誉毀損・プライバシー侵害等により損害を与え、法律上の賠償責任を負った場合の賠償責任保険がセットになっています。年度掛け捨てで300円・500円・700円と災害地での活動も有効な天災プラン 600円・1000円・1400円があります。

22年度に加入した方は、3月31日をもって保障期間が終了しています。引き続き活動される方は、お早目に23年度の保険加入の手続きをお勧めします。

※福祉活動やボランティア活動を目的とした行事の主催者が掛ける「行事保険」もありますのでご利用下さい。

～お問合せ・お申込み～

国立市ボランティアセンター

TEL 042(575)3223

